



取付説明書

2 メディア / 3 レベル対応 VICS ユニット

VIX103

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	取り付け概要図	5

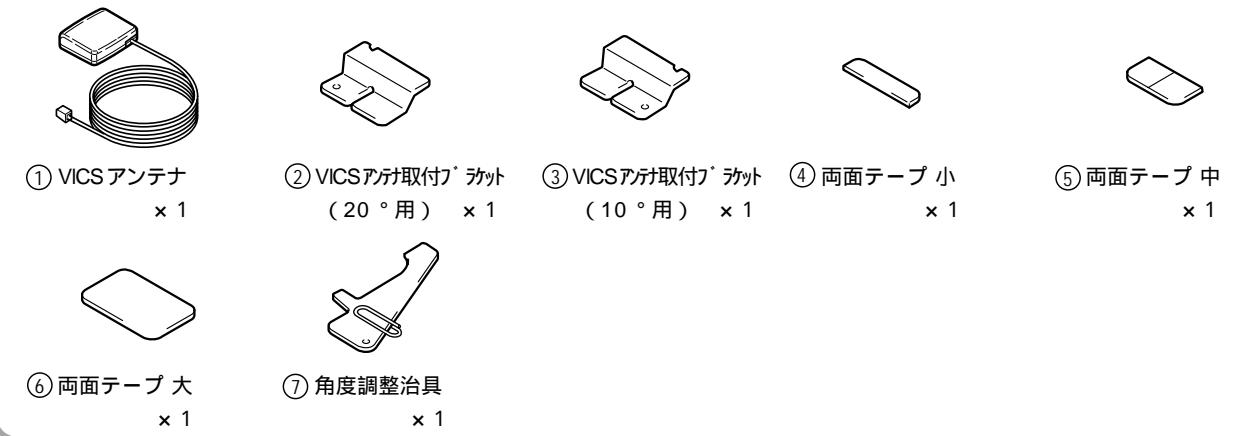
接続について	システム接続例	6
--------	---------	---

取り付けについて	VICS アンテナの取り付け	7
----------	----------------	---

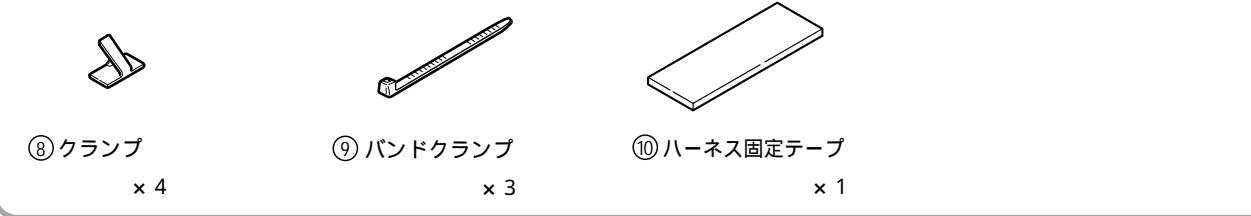
構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

VICS 関係



配線用部品



安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと



警告

本機はDC12V \ominus アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス \ominus 端子をはずす。プラス \oplus とマイナス \ominus 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

注意

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。

車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

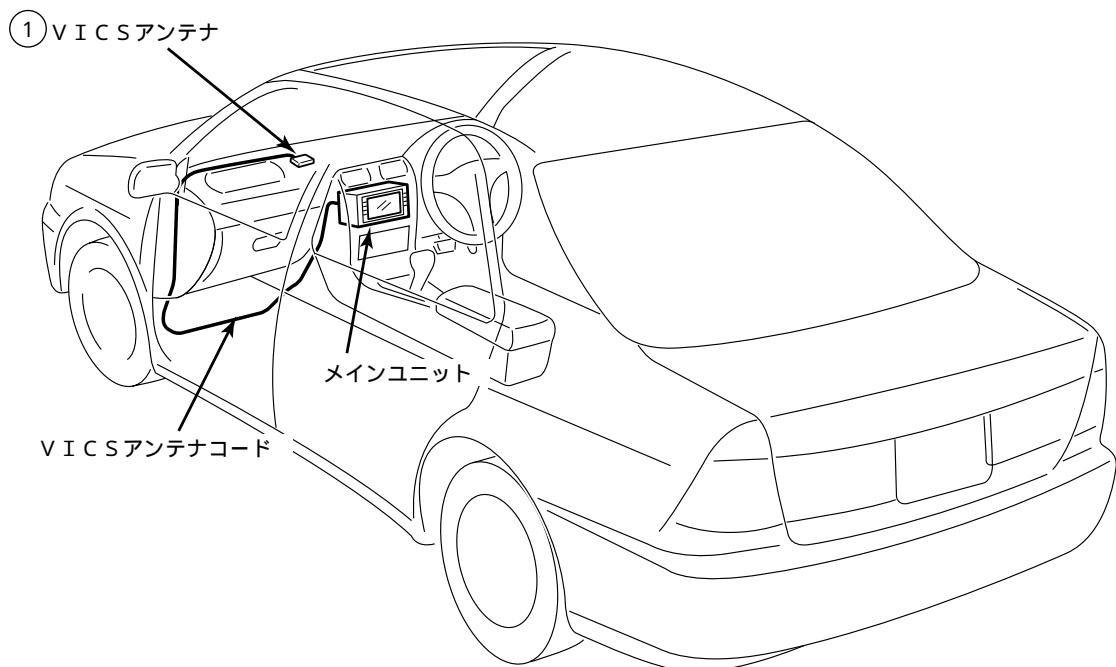
コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

取り付け概要図



システム接続例

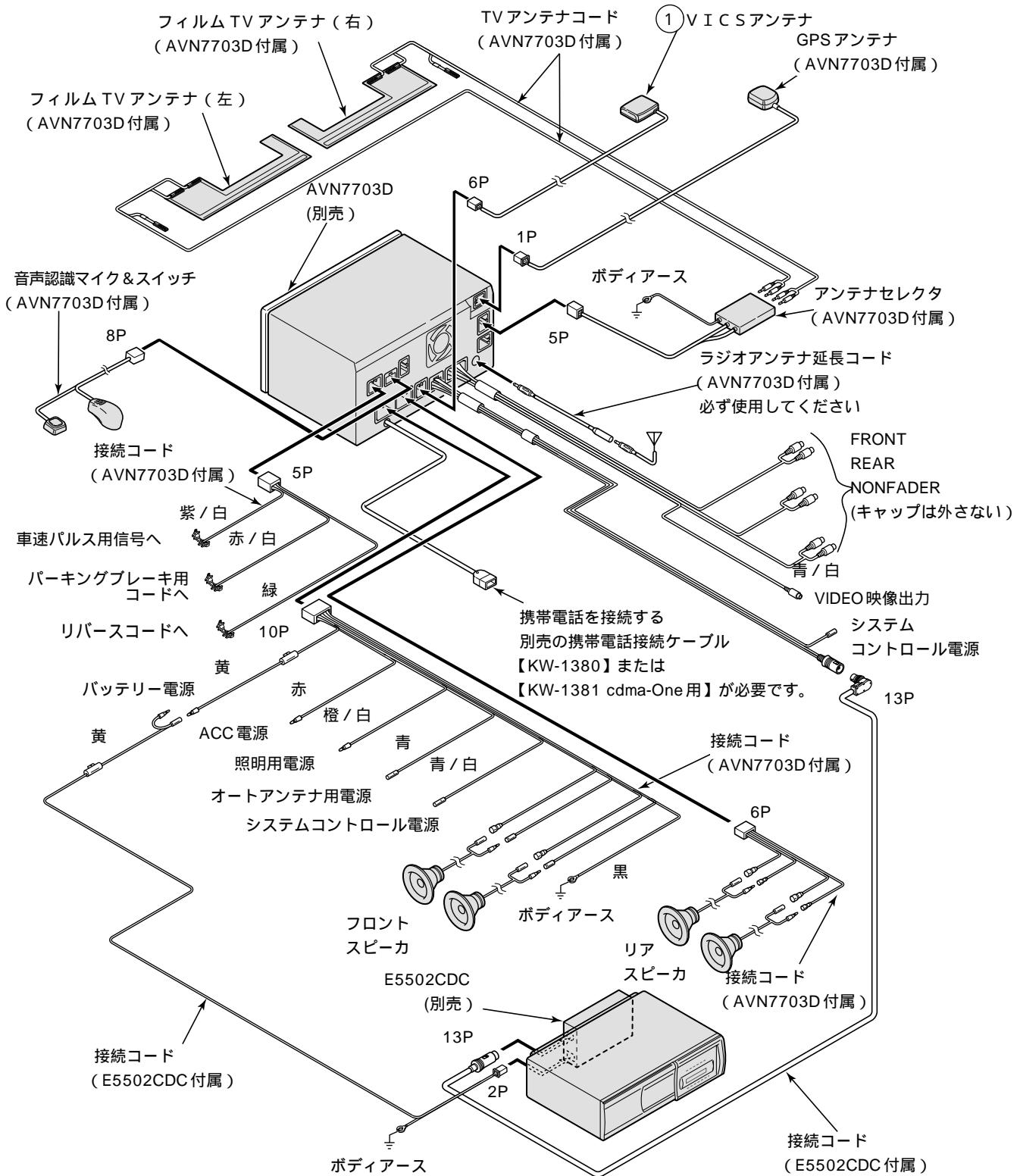
⚠️ 警告

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

アドバイス

メインユニットに接続する前に取付及び配線を行ってください。



VICSアンテナの取り付け

取り付け上のご注意

⚠ 警告

コード類は、運転操作の妨げとなるよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー・ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。

⚠ 注意

車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

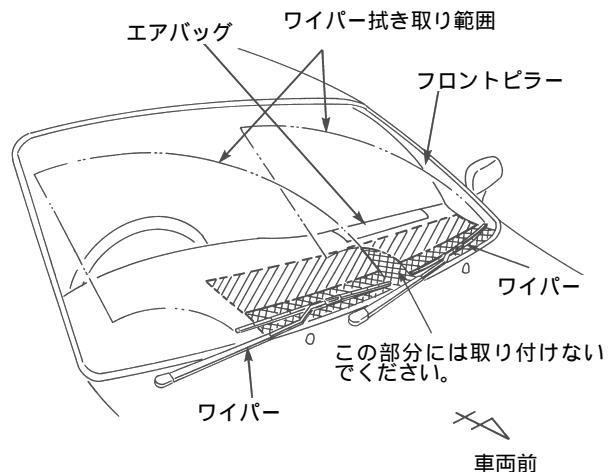
👉 アドバイス

VICSアンテナは、車室内のダッシュボード上へ取り付けてください。その他への場所への取り付けは行わないでください。

👉 アドバイス

VICSアンテナは、ワイパー・ブレードの影になる場所には取り付けないでください。

VICSアンテナは車両側面から見てフロントピラーに重なる位置に取り付けないでください。



1 VICSアンテナの取付位置を決める。

アドバイス

VICSアンテナの取付位置を決める際、以下の事項に注意してください。

運転車の視界の妨げとならないこと。

エアバック作動時の妨げとならないこと。

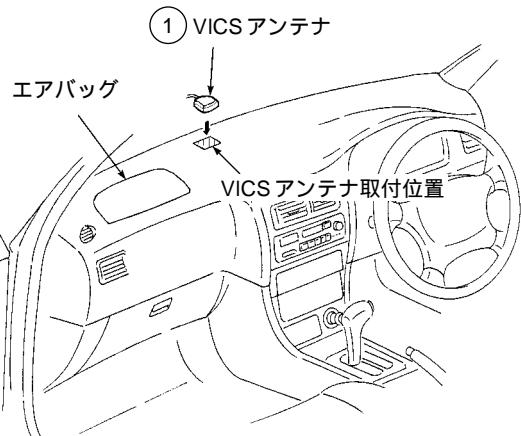
GPSアンテナが室内置きの場合 GPSアンテナより 20cm 以上離す。

取付位置付近のダッシュボードの傾斜角度が前後 30° 以内、左右 5° 以内であることを確認する。

フロントガラス内側の清掃の妨げにならないこと。

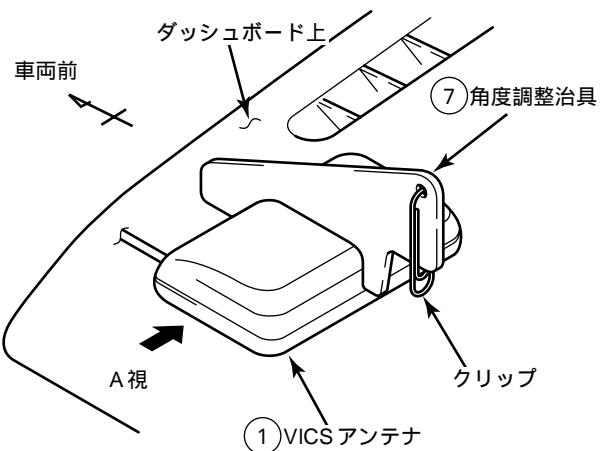
デフロスター【フロントガラスとダッシュボードの間のエアコン噴き出し口】の性能を妨げないこと。

ダッシュボードの左側に取り付ける場合は、車両前方に対して、時計方向に 3 ~ 10° 傾けて取り付けてる。

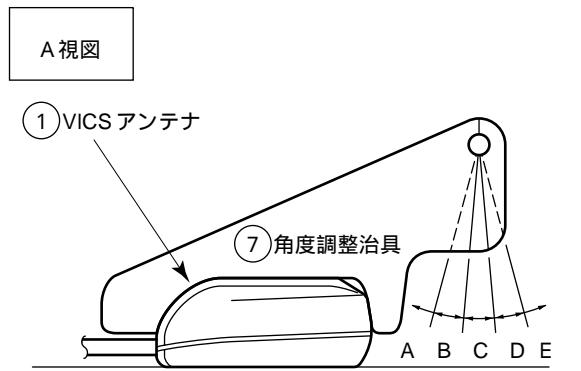


- VICSアンテナ取付調整方法 -

1 VICSアンテナをダッシュボードの取付位置に置き、角度調整治具を使用して取付面の傾斜角度を測定する。



- 2 角度調整治具のクリップが示す位置(A ~ E)から使用プラケットおよびプラケットの向きを選択する。(クリップ位置がCの場合、プラケットは使用しません。)



- 3 選択したプラケットをVICSアンテナに仮付けして取付位置へ置き、角度調整治具のクリップが(C)の範囲にあることを確認する。

- 4 両面テープを使用してVICSアンテナを取付位置に固定する。

クリップ位置	使用プラケット	プラケットの向き
A	(角度大) ②VICSアンテナ取付フ'ラケット(20°用)使用	車両前 ↖
B	(角度小) ③VICSアンテナ取付フ'ラケット(10°用)使用	車両前 ↖
C	プラケットは使用しない	⑥両面テープ(大)
D	(角度小) ③VICSアンテナ取付フ'ラケット(10°用)使用	車両前 ↖
E	(角度大) ②VICSアンテナ取付フ'ラケット(20°用)使用	車両前 ↖

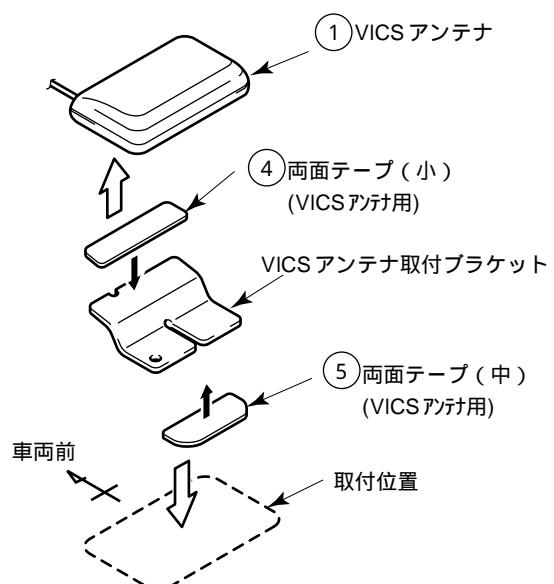
- VICS アンテナ取付方法 -

クリップ位置がAまたはBの場合

- 1 VICS アンテナ取付ブラケットに両面テープ(小)を貼り付け、VICS アンテナを取り付ける。
- 2 VICS アンテナ取付ブラケットに両面テープ(中)を貼り付け、VICS アンテナを取付位置に固定する。

アドバイス

貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。

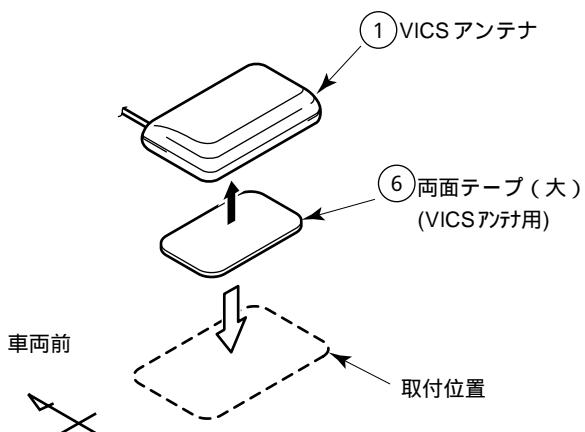


クリップ位置がCの場合

- 3 VICS アンテナに両面テープ(大)を貼り付け取付位置に固定する。

アドバイス

貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。

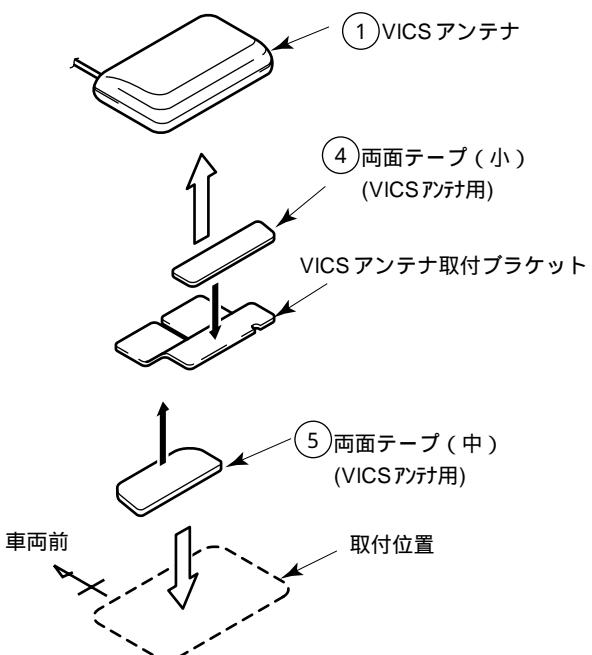


クリップ位置がDまたはEの場合

- 4 VICS アンテナ取付ブラケットに両面テープ(小)を貼り付け、VICS アンテナを取り付ける。
- 2 VICS アンテナ取付ブラケットに両面テープ(中)を貼り付け、VICS アンテナを取付位置に固定する。

アドバイス

貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。



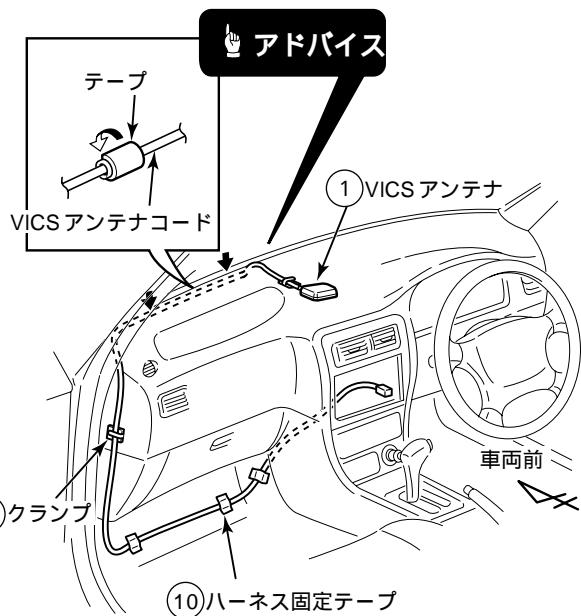
- 5 VICSアンテナコードをクランプで固定する。

- 6 VICSアンテナコードをフロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み配線する。

 **アドバイス**

VICSアンテナコードがダッシュボードからはみ出す場合は、テープを巻き付けてフロントガラスとダッシュボードの隙間に収めてください。

- 7 VICSアンテナコードをメインユニット取付位置まで配線する。



 **アドバイス**

ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。以降も同様に行ってください。

アンテナコードは折り曲げないように配線してください。

アンテナコードの余長は、リング状に束ねてください。

